

令和元年 10 月 3 日
気 象 庁

令和元年度の熱中症対策関連の取組について

- 気象庁では熱中症対策に資するため、期間（4 月第 4 水曜日～10 月第 4 水曜日）を定めて、下記のような関連する気象情報の提供（熱中症対策関連情報の例は別紙参照）を行っている。今年度も同様に、以下のとおり情報の提供を行った。
 - 天気予報
当日の最高気温が概ね 30℃以上（※）となることが予想される場合に、天気概況において熱中症に対する注意を呼びかけ。
 - 高温注意情報
翌日（地方情報）又は当日（府県情報）の最高気温が概ね 35℃（※）以上になることが予想される場合に発表。
 - 週間天気予報・高温に関する気象情報
向こう 1 週間で最高気温が概ね 35℃（※）以上になることが予想される場合に、週間天気予報において熱中症に対する注意を呼びかけるとともに、「高温に関する気象情報」を発表。
 - 2 週間気温予報・高温に関する早期天候情報
主に 2 週間先を対象に、5 日間平均した最高気温・最低気温を毎日提供する「2 週間気温予報」、及び毎週 2 回（月・木曜日）、6 日～14 日後を対象として、2 週間気温予報で平年より「かなり高い」気温が予想された場合に発表する「高温に関する早期天候情報」において、一定の高温が予想される場合、熱中症への注意を呼びかけ。
 - その他の情報（上記情報等とともに気象庁HP 熱中症ポータルサイトに掲載）
 - < 予測情報 >
 - 主な地点の気温予測グラフ
 - 最高・最低気温分布予想図
 - < 観測情報等 >
 - アメダスの気温の観測データ
 - 推計気象分布（最新の気温等の分布を、約 1km 四方で 1 時間ごとに提供）
 - ヒートアイランド監視報告（毎年 7 月頃公表する都市化による気温への影響評価等）

- 全国の日最高・最低気温の分布
- 全国観測値ランキング
- 観測史上1位の値更新状況

気象庁HP熱中症ポータルサイト：

[<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/kuashou/kurashi/netsu.html>]

※ 一部の地域では基準が異なる。

- 上記の情報提供に加え、高温に関する気象情報の改善等による熱中症対策の強化のため、気象情報の効果的な提供や活用等に関する調査、及び詳細な気温分布予報（20kmから5kmメッシュへと気温分布情報の高解像度化）の提供（2019年度末提供開始予定）に向けた準備を実施している。

時間を追って段階的に発表する 熱中症対策向けの気象情報

気温の予想

2週間前～

5日間平均気温が
その時期として
顕著に高くなると予想

1週間前～

向こう一週間で
最高気温が概ね
35度以上と
なることを予想

前日

翌日の最高気温が
概ね35度以上と予想
(地方※1ごとに発表)

当日

当日の最高気温が
概ね35度以上と予想
(府県※2ごとに発表)

(注)一部の地域では
基準が異なる

※1 北海道、沖縄県、または都府県をまとめた地方。
※2 都府県、または北海道と沖縄県は細分した地域。

気象庁の情報

高温に関する 早期天候情報

高温に関する 気象情報

地方高温注意情報

府県高温注意情報

当日の最高気温が概ね30度以上と予想した
場合は、別途、天気予報で注意を呼びかけ

高温に関する早期天候情報（関東甲信地方）
令和〇年〇月8日14時30分
気象庁 地球環境・海洋部 発表

2週間前～

高温に関する 早期天候情報

関東甲信地方 かなりの高温 〇月14日頃から
かなりの高温の基準：5日平均地域平年差+2.2℃以上

関東甲信地方は最近1週間程度、気温の高い状態が続いています。今後2週間程度も太平洋高気圧の張り出しが強く、気温の高い状態が続く見込みで、〇月14日頃からは平年よりかなり高くなる可能性があります。猛暑日の所もあるでしょう。

熱中症の危険が高い状態が続きますので、引き続き健康管理等に注意してください。

なお、1週間以内に高温が予想される場合には高温に関する気象情報を、翌日または当日に高温が予想される場合には高温注意情報を発表しますので、こちらにも留意してください。

【急激な気温上昇が予想される場合には以下のコメントを発表】

農作物の管理に注意してください。また、急激な気温上昇の際は、熱中症にかかりやすくなります。体調に配慮しつつ、気温上昇の前に汗をかく機会を増やすなど暑さに慣れる取り組みを行ったり、屋外の活動等では飲料水や日陰を十分に確保するなど、事前の熱中症対策を進め、健康管理に注意してください。

高温に関する東海地方気象情報 第1号
令和〇年〇月11日15時05分 名古屋地方気象台発表

1週間前～

高温に関する 気象情報

東海地方では、13日から18日頃にかけて、最高気温が35度以上となる所があるでしょう。

東海地方では13日から18日頃にかけて、太平洋高気圧に覆われ、晴れて気温が高くなり、最高気温が35度以上となる所がある見込みです。

熱中症など健康管理、農作物や家畜の管理などに十分注意してください。

埼玉県高温注意情報 第1号
令和〇年〇月〇日〇5時10分 熊谷地方気象台発表

当日

府県高温注意情報

埼玉県では、〇日の日中は気温が35度以上となるところがあるでしょう。
熱中症など健康管理に注意してください。

予想最高気温（前日の最高気温）
さいたま 37度（35.6度）
熊谷 38度（36.7度）
秩父 35度（34.2度）

さいたままで30度以上の時間帯は、8時頃から22時頃まで。
熊谷で30度以上の時間帯は、8時頃から23時頃まで。
秩父で30度以上の時間帯は、9時頃から19時頃まで。

熱中症の危険が特に高くなります。

特に、外出時や屋外での作業時、高齢者、乳幼児、体調のすぐれない方がおられるご家庭などにおいては、水分をこまめに補給し多量に汗をかいた場合は塩分も補給する、カーテンで日射を遮る、冷房を適切に利用し室温に留意するなど、熱中症に対して充分な対策をとってください。

高温注意情報

高温注意情報

- 全国の都道府県で、毎年4月第四水曜日から10月第四水曜日を対象とした期間に、翌日又は当日の最高気温が概ね35℃(※1)以上になることが予想される場合に「高温注意情報」を発表し、熱中症への注意を呼びかけます。
- 前日17時過ぎに地方単位の情報を、当日5時過ぎから17時頃まで府県単位の情報を発表します。主な地点の気温予測グラフ(※2)を合わせて掲載します。

※1 一部の地域では35℃以外を用いることもあります。
 ※2 気温グラフの赤線は、1時間毎の予想気温を結んだものです。黄色の着色域は、気温30℃以上の時間帯とその前後30分の期間を示しています。グラフの縦軸は、範囲外は描画されません。なお、予想最高気温は1時間毎の更新です。

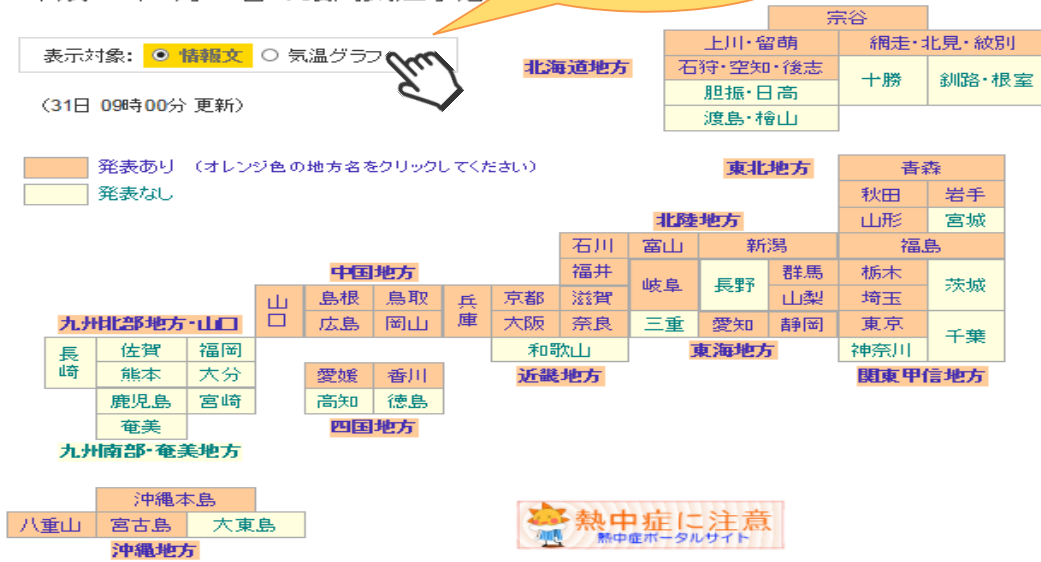
選択地図

平成30年7月31日の最高気温予想

表示対象: 情報文 気温グラフ

(31日 09時00分 更新)

- 発表あり (オレンジ色の地方名をクリックしてください)
- 発表なし

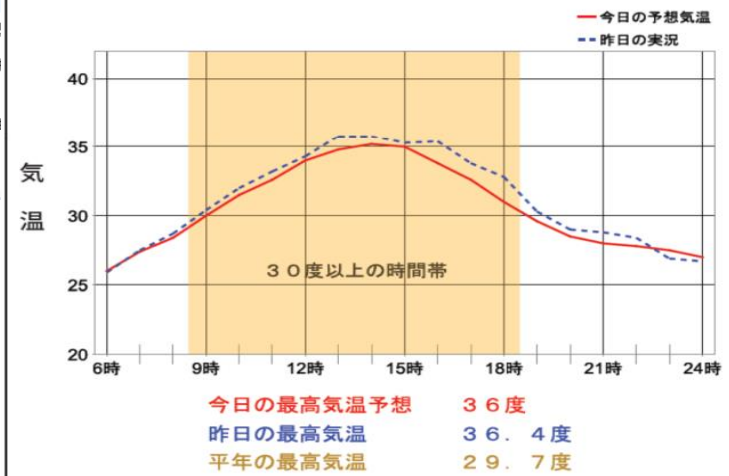


「最高・最低気温分布予想図」を選択

最高・最低気温分布予想図

気温予測グラフ

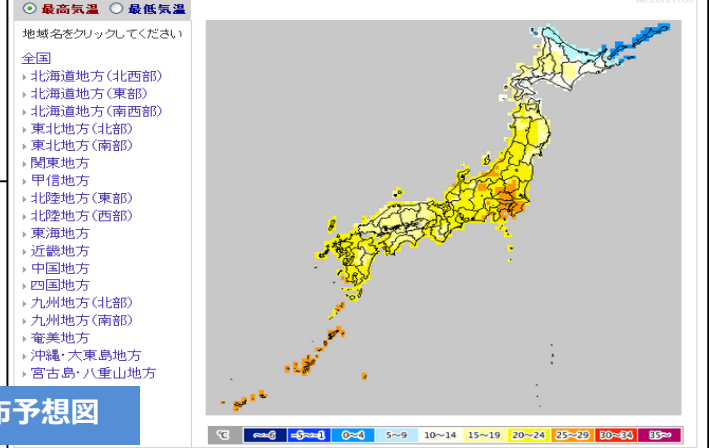
気温予測グラフ さいたま (埼玉県) 7月16日 5時



最高・最低気温分布予想

- この図は、日本全国を一边20kmの正方形のマス目に分けて、そのマス目の中の気温の予想を表示したものです。海上や予測対象でない地域は網掛けで表示しています。
- 毎日5時に当日中の最高気温、11時に当日中の最高気温と翌朝の最低気温、17時に翌日中の最高気温と翌朝の最低気温を発表します。5時発表時点の最低気温は前日17時発表のものそのまま表示されます。

全国：日中の最高気温(℃)
 今日：平成28年07月16日の予想



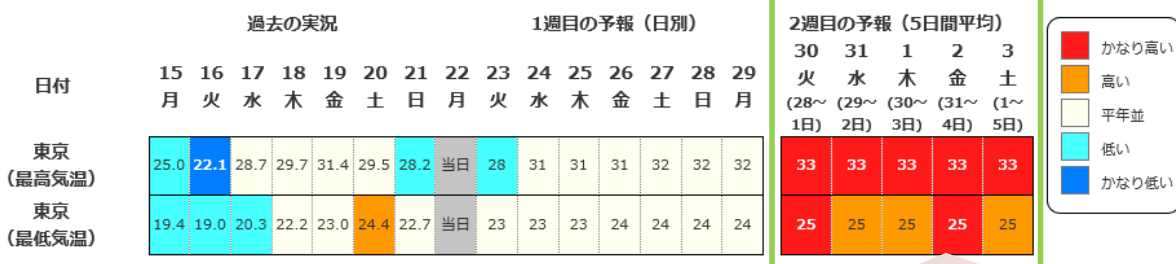
(注) 格子の気温を求める際には、格子周辺の複数の観測地点の気温予想を用いることや、格子平均の標高と観測地点の標高の差による高度補正を行うことなどから、天気予報の気温予想と±1~2℃程度の差が生じる場合があります。

2週間気温予報等の提供開始

- ▶ 気象庁は、**2019年6月19日**より「**2週間気温予報**」の提供を開始。
熱中症等に対する早期の事前対策や、各産業における気候リスク低減、及び生産性向上での利活用を想定。
- ▶ 2週目について、**5日間平均した最高・最低気温を毎日提供**。
毎週2回(月・木曜日)、2週間気温予報で「かなり高い」あるいは「かなり低い」気温が予想された場合には、「**早期天候情報**」をあわせて発表。
- ▶ 2週間気温予報及び早期天候情報において、**熱中症への注意喚起を実施**。

2週間気温予報

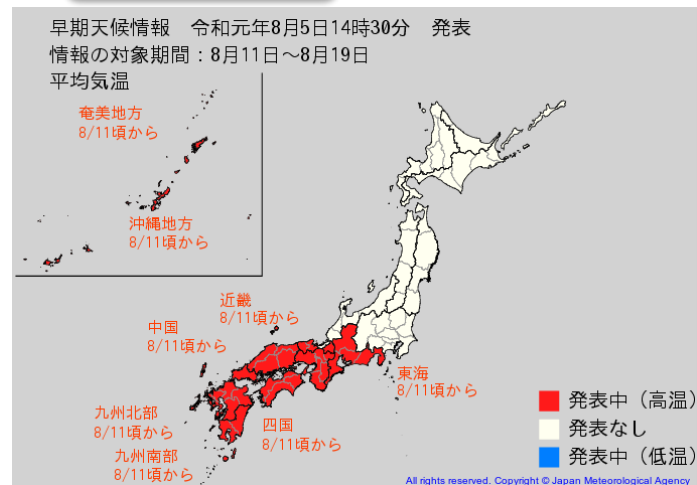
<7月22日発表の予報>



1週目までは低温~平年並の傾向だが、2週目に高温となる予想

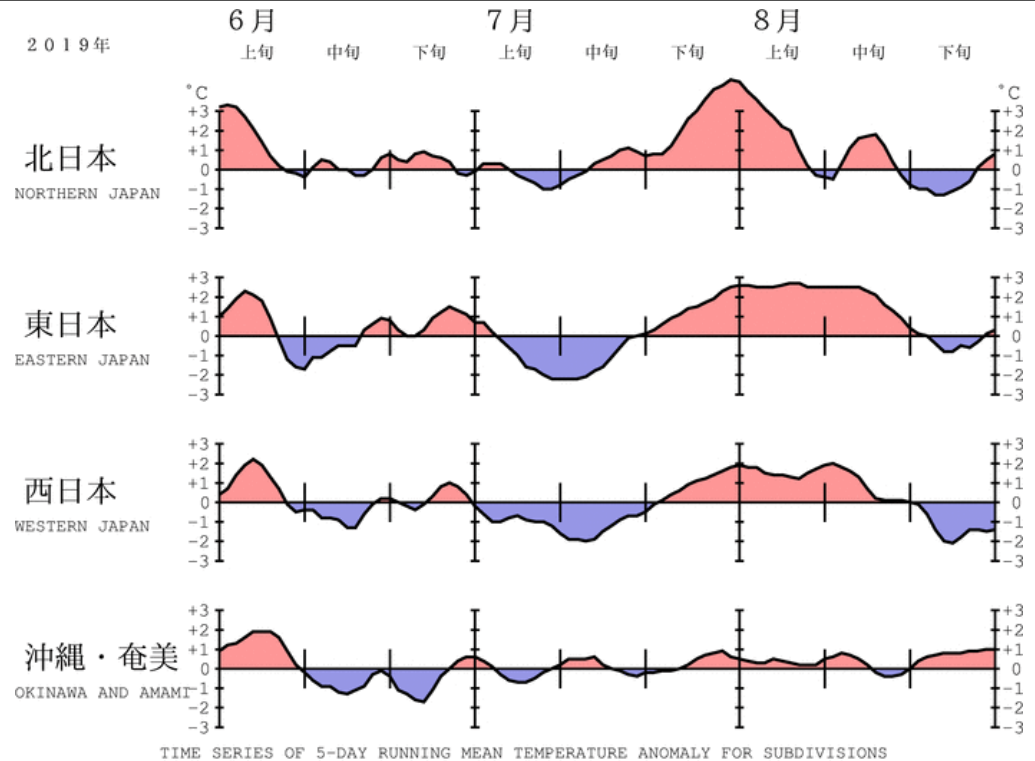
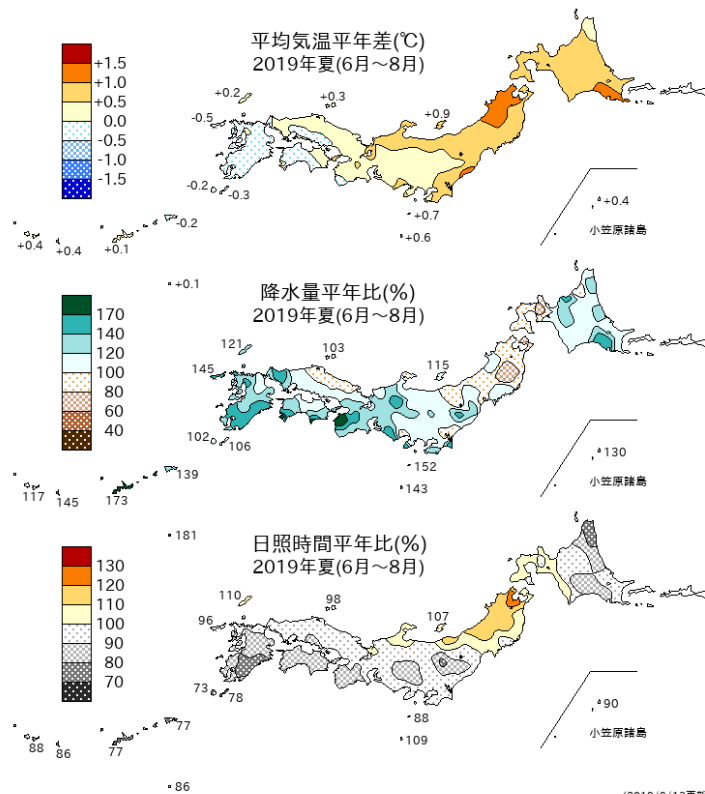
- 過去の実際から2週間先までをシームレスに表示
- 最高・最低気温の推移を毎日、全国約70地点で提供
- 概況において熱中症の注意喚起を実施。

早期天候情報



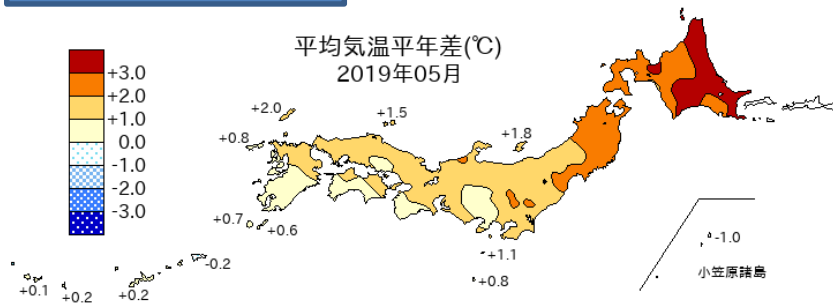
- 「2週間気温予報」で「かなり高い」あるいは「かなり低い」気温が予想された場合に発表
- 情報文において熱中症の注意喚起を実施

- **西日本を中心にたびたび大雨となり、東日本太平洋側と西日本は、降水量が多く、日照時間は少なかった**
梅雨前線の北上が平年より遅かったため、梅雨明けは平年より遅れた地方が多かった。また、8月後半は低気圧や前線の影響を受けやすかった。西日本を中心にたびたび大雨となり、西日本太平洋側の夏の降水量はかなり多く、東日本太平洋側と西日本日本海側の降水量は多かった。また、東日本太平洋側と西日本の夏の日照時間は少なかった。
- **北・東日本と沖縄・奄美は、気温が高かった**
暖かい空気に覆われる時期が多かった北日本および沖縄・奄美と、7月末から8月前半にかけて太平洋高気圧に覆われて晴れて厳しい暑さが続いた東日本では、夏の気温は高かった。
- **沖縄・奄美は、降水量がかなり多く、日照時間はかなり少なかった**
梅雨前線や台風および湿った空気の影響を受けやすかったため、沖縄・奄美の夏の降水量はかなり多く、夏の日照時間はかなり少なかった。



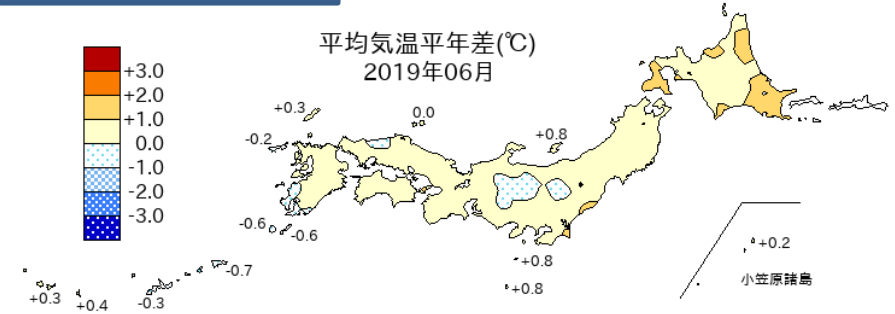
地域平均気温平年差の5日移動平均時系列

5月



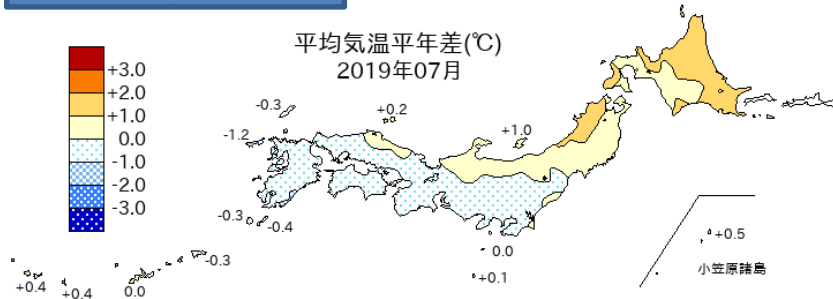
- **気温は、北・東・西日本でかなり高かった**
北・東・西日本では、高気圧に覆われて晴れて強い日射の影響を受け、さらに北日本を中心に西から暖かい空気が流れ込みやすかったため、月平均気温はかなり高かった。北日本の月平均気温は平年差が $+2.7^{\circ}\text{C}$ となり、1946年の統計開始以来5月として1位の高温となった。

6月



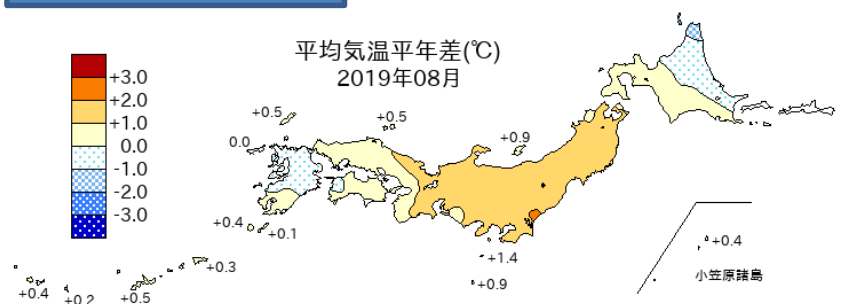
- **北日本の気温は高かった**
上旬を中心に暖かい空気に覆われやすかったため、北日本では気温が高かった。

7月



- **東・西日本の気温は低かった**
日本付近でオホーツク海高気圧からの冷たい空気が流れ込んだことや梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かったことから、東・西日本の気温は低く、東日本では7月としては12年ぶりに低温となった。

8月



- **気温は、東日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった**
月の前半を中心に高気圧に覆われて晴れて厳しい暑さの日が多かった東日本では、月平均気温がかなり高かった。また、暖かい空気に覆われやすかった沖縄・奄美では月平均気温が高かった。